

# いいもの成らせるさくらんぼ便り

## Vol. 2 防霜対策特集号

### 1. 生育が早まる可能性あり！防霜対策の準備を早めに！

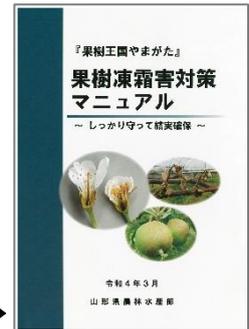
**[注意]** 1か月予報では、3月下旬は気温が平年並みか高くなる予報

＜園芸農業研究所の生育状況＞ 3月18日現在

- ・ **雌しべ長は概ね前年並** 紅秀峰：1.29mm（前年1.26mm 平年1.26mm）  
佐藤錦：1.04mm（前年1.11mm 平年1.09mm）  
やまがた紅王：1.60mm（前年1.61mm 平年1.58mm）

#### 【事前の準備】

- ◇剪定が終了していない場合は急いで終わらせ、剪定枝を片付ける
- ◇スプリンクラー、暖房機などの施設や機械は早めに準備・点検する  
特に、摘芽した園地・樹では必ず以下の防霜対策を実施する
- ◇地表面を覆うもの（敷きワラ等）を取り除く



※ご利用ください→

#### 【主な防霜対策】

##### (1) 散水氷結法



- ・マイクロスプリンクラー等で樹上から散水
- ・散水はスプリンクラーが凍結する前の2℃程度から開始
- ・翌朝、氷が融けるまで散水を続ける  
(途中で散水を止めると被害を助長するので注意！)

##### (2) 防霜ファン



- ・気温が2℃以下になったら稼動
- ・-2℃以下になった場合は、効果が不十分であるため、燃焼法を併用

##### (3) 燃焼法



- ・「霜キラー」や「防霜ロック」は 10aあたり20～30個設置
- ・気温が1℃を下回ったら点火
- ・気温が最も低い日の出直前に火力が低下しないようにする

**「低温アラート」システムを積極的に活用しよう！** 3月15日～運用開始

- ・県内の樹園地等に約50台の小型気象観測装置を設置
- ・観測地点ごとに
  - ① 現在の気温を確認できる
  - ② 自分で設定した気温になるとメールで通知が届く
- ・利用は「やまがたアグリネット」から  
(会員限定、会員登録・会費は無料)



↑会員登録は  
こちらから



↑アラート設定  
はこちらから

## 2. 霜害にあいやすい条件

- ・霜害の常襲地、摘芽した園地
- ・雌しべの枯死がみられる園地

**特に対策をしっかりと！**

《 霜が降りやすい条件 》

- ・晴天で日中の気温が低い
- ・夜間に風がなく晴れている
- ・午後5時の気温が10℃以下、または午後10時頃の気温が5℃以下

**天気予報 + 自分で確認**

### ◎短果枝の外観と雌しべ長および霜害発生の目安



**発芽期頃**

芽の先端に緑が出始めた頃  
(雌しべ長: 1.3 mm前後)



**発芽 10 日後頃**

花芽が膨らみ、はっきりと  
緑が確認できる頃  
(雌しべ長: 2 mm前後)



**発芽 15 日後頃**

さらに膨らみ、花芽の半分くらい  
緑(赤)になった頃  
(雌しべ長: 3 mm前後)

まだ被害が出にくい時期

**この頃から  
注意が必要**

**だんだん弱くなる**



**花芽が割れ始めた頃**

(雌しべ長: 5 mm前後)



**開花前～開花始期**

(雌しべ長: 6～8 mm)



**この時期が最も霜害に弱い！！**

**「やまがた紅王」「紅秀峰」は「佐藤錦」より生育の進みが早いので、対策は早めに！**

村山総合支庁農業技術普及課  
TEL 023-621-8270

西村山農業技術普及課  
TEL 0237-86-8215

北村山農業技術普及課  
TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)